## 平成28年度防災減災・低炭素化自立分散型エネルギー設備等導入推進事業 事業概要書

## 1. 事業概要

実 施 主 体 日吉津村	所	在	地	鳥取県西伯郡日吉津村大字日吉津 872-15
共同実施者				

## 2. 事業内容

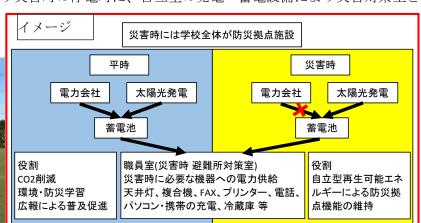
事	業名	称	日吉津小学校太陽光発電・蓄電設備(防災拠点・省エネ)事業									
施	設	設 名 日吉津村立日吉津小学校										
導	入 設	備	太陽光発電設備 10Kw、蓄電池 16.1Kwh									
補決	成 2 8 年 助 金 交 定 総事業費	付額	29,124千円 (39,798千円)	実	施	期	間	平成29年1月 ~	29年10月	事業完了後の CO2 削減効果 ( 見 込 )	6 t-CO2/年	

太陽光発電設備 10Kw、蓄電池 16.1Kwh を新設し、平時はもとより災害時の停電時に、自立型の発電・蓄電設備により災害対策室と

して利用を可能とし、防災拠点機能を発揮させます。

事業内容





## 3. 期待される効果等

普及効果…本村では、環境基本計画により太陽光発電を主とした再生可能エネルギーの導入を図ることとしており、家庭での太陽光 発電システムの導入に対し補助金制度を設け導入促進を図っています。事業完了後に、村ホームページ、村広報誌に自家発電・蓄電 設備の整備により災害時でも自立可能な「防災拠点の整備」を図ったことを公表します。職員室前廊下壁にモニターを設置し、児童 普及効果・平時 の環境学習、防災学習に活用します。また、参観日等保護者や地域住民が来校する際、環境・防災対応について分かり易い案内板を における役割 設置し広報することにより、各家庭での導入の一助となるよう取組みます。 平時の役割…平時においては、小学校全体の CO2 削減につながることで、将来を担う児童の環境教育に資する施設となります。 防災拠点として、避難所対策室となる小学校職員室に太陽光発電と蓄電池の設備を導入し、災害時の非常電源として活用します。 防災減災面に

け お 割